

第15期

運用報告書(全体版)

グローバル・エクセレント・オープン (愛称 世界連峰)

【2015年8月26日決算】

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

皆様の「グローバル・エクセレント・オープン(愛称 世界連峰)」は、2015年8月26日に第15期決算を迎えましたので、期中の運用状況ならびに決算のご報告を申し上げます。

今後とも、一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

 **岡三アセットマネジメント**

〒104-0028 東京都中央区八重洲 2-8-1

お問い合わせは弊社カスタマーサービス部へ
フリーダイヤル ☎0120-048-214 (営業日の9:00~17:00)

[ホームページ]

<http://www.okasan-am.jp>



※アクセスにかかる通信料はお客様のご負担となります。
※機種により本サービスをご利用いただけない場合があります。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2008年2月28日から、原則として無期限です。	
運用方針	<p>グローバル・エクセレント・マザーファンドの受益証券への投資を通じて、主として世界の株式（DR（預託証券）を含みます。）の中から、相対的に市場シェアの高い製品・サービスを有し、収益力・財務体質・マーケティング戦略に優れ、グローバルな経済成長の恩恵が期待される企業の株式、およびこのような企業に成長していくことが見込まれる企業の株式に投資します。</p> <p>株式の実質組入比率は高位を保つことを基本としますが、市況動向によっては弾力的に組入比率を引き下げることがあります。</p> <p>実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。</p>	
主要投資対象	当ファンド	グローバル・エクセレント・マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。
	グローバル・エクセレント・マザーファンド	主として世界の株式（DR（預託証券）を含みます。）を主要投資対象とします。
投資制限	当ファンド	マザーファンドの受益証券への投資割合には制限を設けません。
	グローバル・エクセレント・マザーファンド	外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	<p>年2回、2月26日、8月26日（それぞれ休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき収益分配を行います。</p> <p>分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。</p> <p>繰越分を含めた経費控除後の配当等収益には、マザーファンドの配当等収益のうち、投資信託財産に帰属すべき配当等収益を含むものとします。</p> <p>分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案して決定します。</p>	

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500 指数		ストックス・ヨーロッパ600指数		株式組入比率	株式先物比率	純資産額
	(分配落)	税込み分配金	期中騰落率	(参考指数)	期中騰落率	(参考指数)	期中騰落率			
	円	円	%	ポイント	%	ポイント	%	%	%	百万円
11期(2013年8月26日)	9,100	0	14.4	1,663.50	11.8	304.71	5.7	94.7	—	200
12期(2014年2月26日)	10,268	100	13.9	1,845.12	10.9	338.39	11.1	95.7	—	433
13期(2014年8月26日)	10,401	100	2.3	1,997.92	8.3	340.46	0.6	95.5	—	257
14期(2015年2月26日)	11,913	400	18.4	2,113.86	5.8	386.76	13.6	92.7	—	180
15期(2015年8月26日)	10,760	200	△ 8.0	1,867.61	△11.6	356.36	△ 7.9	93.0	—	143

(注) 基準価額および分配金(税込み)は1万円当たり、基準価額の騰落率は分配金(税込み)込みです。

(注) S&P 500指数は、米国の主要業種を代表する500銘柄で構成される時価総額加重平均指数です。ストックス・ヨーロッパ600指数は欧州株式を対象とする主要600銘柄の時価総額加重平均指数です。両指数とも、当該日前営業日の現地データを使用しています。なお、両指数とも参考指数であり、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、株式組入比率は実質比率を記載しております。

(注) 株式先物比率は買建比率-売建比率です。

○当期中の基準価額と市況等の推移

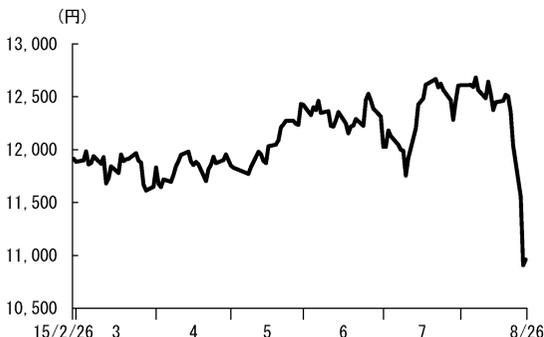
年月日	基準価額		S & P 500 指数		ストックス・ヨーロッパ600指数		株式組入比率	株式先物比率
	騰落率	(参考指数)	騰落率	(参考指数)	騰落率	(参考指数)		
(期首)	円	%	ポイント	%	ポイント	%	%	%
2015年2月26日	11,913	—	2,113.86	—	386.76	—	92.7	—
2月末	11,885	△0.2	2,110.74	△ 0.1	390.69	1.0	92.7	—
3月末	11,832	△0.7	2,086.24	△ 1.3	399.84	3.4	94.5	—
4月末	11,848	△0.5	2,106.85	△ 0.3	397.30	2.7	92.6	—
5月末	12,423	4.3	2,120.79	0.3	406.83	5.2	94.8	—
6月末	12,026	0.9	2,057.64	△ 2.7	386.17	△0.2	88.2	—
7月末	12,610	5.9	2,108.63	△ 0.2	396.24	2.5	92.4	—
(期末)								
2015年8月26日	10,960	△8.0	1,867.61	△11.6	356.36	△7.9	93.0	—

(注) 期末基準価額は分配金(税込み)込み、騰落率は期首比です。

◎基準価額の推移

基準価額は期首の11,913円から当期末は10,760円となりました。なお、当期末において200円（税込み）の収益分配を行いましたので、分配金を含めた値下がり額は953円となりました。

基準価額の推移



(注) 基準価額は1万口当たり、期末の基準価額は分配金（税込み）込みです。

◎基準価額の変動要因

主要投資対象である「グローバル・エクセレント・マザーファンド」における主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

- ・国別では、米国、スペイン、フランスなどが基準価額にプラスに寄与しました。また、ヘルスケア関連株や一般消費財・サービス関連株、情報技術関連株などが基準価額にプラスに寄与しました。
- ・個別銘柄では、相対的に市場シェアの高い製品・サービスを有し、グローバルな経済成長の恩恵が期待される銘柄のうち、AMAZON.COMやSTARBUCKS CORPなどが基準価額にプラスに寄与しました。また、日本円に対し米ドルなどが上昇したことが基準価額にプラスに寄与しました。

(主なマイナス要因)

- ・国別では、ドイツや日本、カナダなどが基準価額にマイナスに寄与しました。また、資本財・サービス関連株や素材株、エネルギー株が基準価額にマイナスに寄与しました。

- ・個別銘柄では、UNION PACIFICやEOG RESOURCESなどが基準価額にマイナスに寄与しました。

◎投資環境（市況）

世界の株式市場は、期首は、米国がドル高による企業業績への悪影響への懸念から軟調に推移した一方、欧州は欧州中央銀行（ECB）による経済見通しの上方修正を受けて上昇するなど、まちまちの展開となりました。2015年3月中旬以降は米国企業の好決算やM&Aの活発化などから上昇しました。5月下旬には、米国で低金利政策の長期化観測が強まったことなどから、S&P 500指数が過去最高値を付けました。

7月上旬にかけては、ギリシャの債務問題に対する警戒感が強まり、不安定な展開が続きました。

期末にかけては、良好な米国企業の2015年4-6月期の実績が好感された一方、中国の景気減速懸念や人民元の切り下げなどから、投資家のリスク回避姿勢が強まり、急落しました。

◎ポートフォリオについて

当ファンドの運用はマザーファンドを通じて行いました。

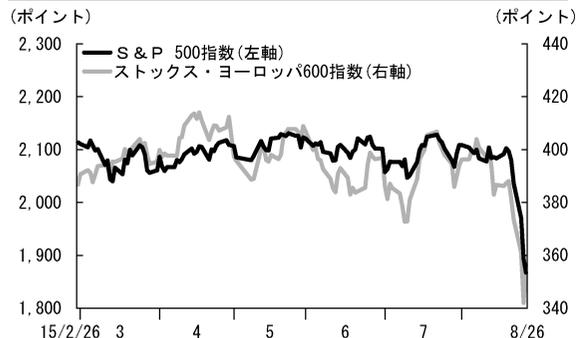
マザーファンドの運用につきましては、2015年3月以降、ECBの量的金融緩和策の実施に伴う欧州景気の回復やユーロ安の恩恵を受けると考え、自動車株や高級消費財株を中心に欧州株のウェイトを引き上げました。その後、ギリシャの債務問題への警戒感が強まる局面では、安定的な業績成長が期待される米国の大型優良株を中心とした運用を行いました。

セクター配分に関しましては、期間を通じて、欧米の景気回復に伴う業績の伸長が期待される、一般消費財や情報技術などの景気敏感セクターのウェイトを高位とし、運用を行いました。また、米国で利上げ開始時期が近付いていると判断し、中長期的な利ザヤの改善が期待される銀行株のウェイトを引き上げました。

◎参考指数との比較

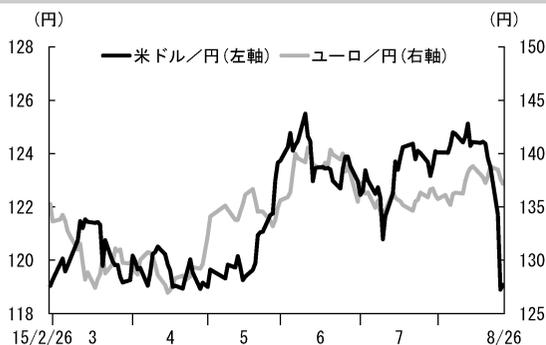
分配金も考慮した当ファンドの基準価額は下落となりました。当ファンドは特定のベンチマークを設けておりませんが、参考指数としているS&P 500指数、ストックス・ヨーロッパ600指数はいずれも下落しました。また、米ドルとユーロは対円で上昇（円安）しております。

参考指数の推移



(注) 両指数とも、当該日前営業日の現地データを使用しています。

為替レートの推移



(注) 為替レートは対顧客電信売買相場の当日（東京）の仲値です。

◎分配金

当ファンドは、毎年2月26日および8月26日（それぞれ休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配を行います。分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案して決定します。

当期の分配金につきましては、基準価額水準等を考慮した結果、1万口当たり200円（税込み）とさせていただきます。

なお、留保益の運用につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

(分配原資の内訳)

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第15期
	2015年2月27日～ 2015年8月26日
当期分配金	200
(対基準価額比率)	1.825%
当期の収益	78
当期の収益以外	121
翌期繰越分配対象額	2,321

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

◎今後の運用方針

<投資環境見通し>

今後の世界の株式市場は、米国の個人消費が主導する景気回復が期待されるものの、新興国経済の悪化懸念や、米国での利上げに対する警戒感から底値模索の展開になると予想します。一方で、欧州については、2015年4-6月期のユーロ圏GDP成長率が、9四半期連続でプラス成長しており、底堅い経済成長が期待されることは、株式市場を下支えする要因になると思われま

<グローバル・エクセレント・オープン（愛称 世界連峰）>

主要な投資対象である「グローバル・エクセレント・マザーファンド」の組入れを高位に維持して運用する方針です。

○グローバル・エクセレント・マザーファンド

当面の運用方針としては、米国や欧州などの先進国の株式を中心としたポートフォリオで運用を行います。また、銘柄選別におきましては、安定的な業績の成長が見込まれる大型株を中心に、医薬品株や消費関連株などに注目し、組入れる方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2015年 2 月27日～2015年 8 月26日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	96	0.793	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(45)	(0.374)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(46)	(0.376)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(5)	(0.043)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	12	0.099	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 株 式 ）	(12)	(0.099)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	3	0.026	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（ 株 式 ）	(3)	(0.026)	
(d) そ の 他 費 用	31	0.256	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(29)	(0.243)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の 送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(1)	(0.006)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(1)	(0.006)	その他は、金融商品取引を行う為の識別番号取得費用
合 計	142	1.174	
期中の平均基準価額は、12,104円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切り捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2015年2月27日～2015年8月26日)

○売買及び取引の状況とは、ファンドが購入・売却した有価証券の数量および金額です。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
グローバル・エクセレント・マザーファンド	千口 3,529	千円 5,000	千口 19,176	千円 28,000

(注) 口数・金額の単位未満は切り捨てです。

○株式売買比率

(2015年2月27日～2015年8月26日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期	
	グローバル・エクセレント・マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	151,664千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	163,720千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.92	

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。

○利害関係人との取引状況等

(2015年2月27日～2015年8月26日)

利害関係人との取引状況

<グローバル・エクセレント・オープン>

該当事項はございません。

<グローバル・エクセレント・マザーファンド>

区分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
株式	百万円 65	百万円 -	% -	百万円 85	百万円 1	% 1.2

平均保有割合 100.0%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合です。

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	175千円
うち利害関係人への支払額 (B)	0.6千円
(B) / (A)	0.3%

(注) 売買委託手数料総額は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とはOKASAN SECURITIES TOKYO/JAPANです。

○組入資産の明細

(2015年8月26日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
グローバル・エクセレント・マザーファンド	千口 120,643	千口 104,997	千円 137,242

(注) 口数・評価額の単位未満は切り捨てです。

○投資信託財産の構成

(2015年8月26日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
グローバル・エクセレント・マザーファンド	千円 137,242	% 92.7
コール・ローン等、その他	10,808	7.3
投資信託財産総額	148,050	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨てです。

(注) グローバル・エクセレント・マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（131,490千円）の投資信託財産総額（137,240千円）に対する比率は95.8%です。

(注) グローバル・エクセレント・マザーファンドにおける外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当期末における邦貨換算レートは1米ドル=119.08円、1加ドル=89.30円、1ユーロ=137.17円、1英ポンド=186.87円、1スイスフラン=126.64円、1スウェーデンクローナ=14.23円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2015年8月26日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	148,050,683
コール・ローン等	10,808,463
グローバル・エクセレント・マザーファンド(評価額)	137,242,215
未収利息	5
(B) 負債	4,074,773
未払収益分配金	2,676,172
未払信託報酬	1,387,412
その他未払費用	11,189
(C) 純資産総額(A-B)	143,975,910
元本	133,808,648
次期繰越損益金	10,167,262
(D) 受益権総口数	133,808,648口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,760円

(注) 運用報告書作成時点では、監査未了です。

(注) 計算期間末における1口当たり純資産額は1,0760円です。

(注) 当ファンドの期首元本額は151,451,254円、期中追加設定元本額は610,579円、期中一部解約元本額は18,253,185円です。

○損益の状況（2015年2月27日～2015年8月26日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	224
受取利息	224
(B) 有価証券売買損益	△11,356,310
売買益	842,056
売買損	△12,198,366
(C) 信託報酬等	△1,398,601
(D) 当期損益金(A+B+C)	△12,754,687
(E) 前期繰越損益金	27,858,068
(F) 追加信託差損益金	△2,259,947
(配当等相当額)	(4,832,336)
(売買損益相当額)	(△7,092,283)
(G) 計(D+E+F)	12,843,434
(H) 収益分配金	△2,676,172
次期繰越損益金(G+H)	10,167,262
追加信託差損益金	△2,259,947
(配当等相当額)	(4,833,424)
(売買損益相当額)	(△7,093,371)
分配準備積立金	26,226,341
繰越損益金	△13,799,132

(注) 損益の状況の中で、(B)有価証券売買損益は期末の評価替えによるものを含みます。(C)信託報酬等は消費税等相当額、監査費用を含めて表示しております。(F)追加信託差損益金とは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 収益分配金

決算期	第15期
(a) 配当等収益(費用控除後)	1,044,445円
(b) 有価証券等損益額(費用控除後、繰越欠損金補填後)	0円
(c) 信託約款に規定する収益調整金	4,833,424円
(d) 信託約款に規定する分配準備積立金	27,858,068円
分配対象収益(a+b+c+d)	33,735,937円
分配対象収益(1万口当たり)	2,521円
分配金額	2,676,172円
分配金額(1万口当たり)	200円

用語解説

○資産、負債、元本及び基準価額の状況は、期末における資産、負債、元本及び基準価額の計算過程を表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項 目	説 明
資産	ファンドが保有する財産の合計です。
コール・ローン等	金融機関向けの安全性の高い短期貸付運用などの残高です。
各種有価証券等（評価額）	組入れた株式・債券・ファンドなどの評価金額です。
未収入金	入金が予定されている有価証券の売却代金などです。
未収配当金	入金が予定されている株式の配当金等です。
未収利息	入金が予定されているコール・ローン等の利息や債券の利息の合計です。
負債	支払いが予定されている金額の合計です。
未払収益分配金	期末時点で支払いが予定されている収益分配金です。
未払解約金	支払いが予定されている解約金です。
未払信託報酬	支払いが予定されている信託報酬の額です。
その他未払費用	支払いが予定されている監査費用、その他の費用です。
純資産総額（資産－負債）	ファンドが保有する財産の合計から支払いが予定されている金額の合計を差し引いたものです。
元本	ファンド全体の元本残高です。
次期繰越損益金	純資産総額と元本の差額（翌期に繰り越す損益金の合計額）です。
受益権総口数	受益者が保有する受益権口数の合計です。
1(万)口当たり基準価額	1(万)口当たりのファンドの時価です。

用語解説

○損益の状況は、期中にファンドがどのような収益や損失を計上したかを表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項 目	説 明
配当等収益	ファンドが受取った配当金・利息等の合計です。
受取配当金	保有する株式等の配当金等です。
受取利息	債券、コール・ローン等の利息等です。
有価証券売買損益	有価証券の売買損益と期末の評価損益の合計額です。
売買益	売買益と期末評価益の合計です。
売買損	売買損と期末評価損の合計です。
信託報酬等	信託報酬のほか保管費用、監査費用、その他の費用と、それらに掛かる消費税等相当額です。
当期損益金	当期における収支合計です。
前期繰越損益金	前期分の分配準備積立金と繰越損益金の合計額から当期中の解約に対する持分を控除した金額です。
追加信託差損益金	受益者がファンドに払い込んだ金額と元本との差額です。
（配当等相当額）	配当等に相当する額です。
（売買損益相当額）	売買損益に相当する額です。
計	収益分配前の期中の収支の総合計です。
収益分配金	期中の分配可能額から受益者に支払われる分配金です。
次期繰越損益金	翌期に繰り越す損益金の合計です。
追加信託差損益金	翌期に繰り越す追加信託差損益金です。
（配当等相当額）	配当等に相当する額です。
（売買損益相当額）	売買損益に相当する額です。
分配準備積立金	翌期に繰り越す分配準備積立金の額です。
繰越損益金	翌期に繰り越す損益金の額です。

○分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金（税込み）	200円
支払開始日	2015年9月1日（火）までの間に支払いを開始します。
お支払場所	取得申込みを取扱った販売会社の本店

〈お知らせ〉

弊社は、資産運用・リスク管理態勢の高度化等への取り組みを一段と強化すべく、2015年4月1日付けで運用部門に関し以下の組織変更を行いました。

- ①運用企画部の新設
- ②投資調査部を投資情報部に改称
- ③運用各部を投資対象資産別に再編
- ④トレーディング部を運用本部から分離

○（参考情報）親投資信託の組入資産の明細

（2015年8月26日現在）

<グローバル・エクセレント・マザーファンド>

下記は、グローバル・エクセレント・マザーファンド全体(104,997千口)の内容です。

国内株式

銘柄	期首(前期末)	当 期 末	
	株 数	株 数	評 価 額
化学（－％）	千株	千株	千円
信越化学工業	0.4	－	－
電気機器（100.0％）			
パナソニック	2	2	2,573
合 計	株 数 ・ 金 額	2	2,573
	銘 柄 数 < 比 率 >	2	1 < 1.9% >

（注）業種・銘柄欄の（ ）内は、当期末のマザーファンドの国内株式の評価総額に対する各業種の割合です。

（注）合計欄の< >内は、当期末のマザーファンドの純資産総額に対する評価額の比率です。

（注）評価額の単位未満は切り捨てです。

（注）－印は組み入れがありません。

外国株式

銘柄	期首(前期末)		当 期 末		業 種 等	
	株 数	株 数	評 価 額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円		
ALCOA INC	16	—	—	—	素材	
CARNIVAL CORP	—	5	23	2,818	消費者サービス	
CITIGROUP INC	—	5	24	2,969	銀行	
CVS HEALTH CORP	4	2	20	2,381	食品・生活必需品小売り	
EOG RESOURCES INC	3	2	13	1,628	エネルギー	
FEDEX CORP	1	1	14	1,727	運輸	
GENERAL ELECTRIC CO	8	—	—	—	資本財	
GENERAL DYNAMICS CORP	2	2	27	3,306	資本財	
HONEYWELL INTERNATIONAL INC	3	3	28	3,355	資本財	
JPMORGAN CHASE & CO	—	5	29	3,567	銀行	
MASTERCARD INC-CLASS A	4	4	34	4,135	ソフトウェア・サービス	
MERCK & CO. INC.	—	4	20	2,437	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
METLIFE INC	—	6	27	3,328	保険	
SALESFORCE.COM INC	5	4	26	3,104	ソフトウェア・サービス	
VERIZON COMMUNICATIONS INC	5	—	—	—	電気通信サービス	
WALT DISNEY CO/THE	4	3	28	3,425	メディア	
UNION PACIFIC CORP	2	2	16	1,918	運輸	
NEXTERA ENERGY INC	2	1	10	1,196	公益事業	
VISA INC-CLASS A SHARES	1	5	33	3,987	ソフトウェア・サービス	
VMWARE INC-CLASS A	3	4	32	3,868	ソフトウェア・サービス	
WELLS FARGO & CO	6	5	25	2,978	銀行	
NORFOLK SOUTHERN CORP	2	—	—	—	運輸	
BOEING CO/THE	1	2	25	2,988	資本財	
BRISTOL-MYERS SQUIBB CO	5	5	28	3,446	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
HOME DEPOT INC	—	3	33	3,964	小売	
MONSANTO CO	3	2	17	2,129	素材	
NIKE INC -CL B	2	—	—	—	耐久消費財・アパレル	
NORDSTROM INC	3	—	—	—	小売	
OCCIDENTAL PETROLEUM CORP	—	2	13	1,565	エネルギー	
UNITEDHEALTH GROUP INC	3	2	21	2,619	ヘルスケア機器・サービス	
DANAHER CORP	3	4	33	3,964	資本財	
AMAZON.COM INC	1	1	46	5,553	小売	
COMCAST CORP-CLASS A	5	5	26	3,206	メディア	
COSTCO WHOLESALE CORP	2	2	26	3,160	食品・生活必需品小売り	
FACEBOOK INC-A	4	4	33	3,953	ソフトウェア・サービス	
GILEAD SCIENCES INC	3	2	20	2,442	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
STARBUCKS CORP	4	6	30	3,650	消費者サービス	
TEXAS INSTRUMENTS INC	6	—	—	—	半導体・半導体製造装置	
INTEL CORP	7	—	—	—	半導体・半導体製造装置	
CELGENE CORP	3	2	22	2,684	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
小 計	株 数	金 額	126	105	818	97,465
	銘柄 数 < 比率 >		33	32	—	< 71.0% >
(カナダ)					千加ドル	
TORONTO-DOMINION BANK	4	—	—	—	—	銀行
SUNCOR ENERGY INC	11	4	13	1,200	1,200	エネルギー
小 計	株 数	金 額	15	4	13	1,200
	銘柄 数 < 比率 >		2	1	—	< 0.9% >
(ユーロ…ドイツ)					千ユーロ	
VOLKSWAGEN AG	1	0.4	6	920	920	自動車・自動車部品
ALLIANZ SE-REG	1	—	—	—	—	保険

グローバル・エクセレント・オープン（愛称 世界連峰）

銘柄	柄	期首(前期末)		当 期 末		業 種 等
		株 数	株 数	評 価 額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(ユーロ…ドイツ)		百株	百株	千ユーロ	千円	
HENKEL AG & CO KGAA VORZUG		1	—	—	—	家庭用品・パーソナル用品
SIEMENS AG-REG		3	1	12	1,672	資本財
DAIMLER AG-REGISTERED SHARES		3	3	21	2,920	自動車・自動車部品
小 計	株 数 ・ 金 額	9	4	40	5,513	
	銘柄 数 < 比 率 >	5	3	—	<4.0%>	
(ユーロ…フランス)						
AXA SA		14	9	19	2,727	保険
SANOFI		4	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
LVMH MOET HENNESSY LOUIS VUI		1	1	20	2,833	耐久消費財・アパレル
ACCOR SA		5	5	21	2,956	消費者サービス
CREDIT AGRICOLE SA		—	8	9	1,312	銀行
小 計	株 数 ・ 金 額	24	23	71	9,831	
	銘柄 数 < 比 率 >	4	4	—	<7.2%>	
(ユーロ…スペイン)						
INDUSTRIA DE DISEÑO TEXTIL		6	8	23	3,209	小売
小 計	株 数 ・ 金 額	6	8	23	3,209	
	銘柄 数 < 比 率 >	1	1	—	<2.3%>	
(ユーロ…ベルギー)						
ANHEUSER-BUSCH INBEV SA/NV		3	2	21	3,000	食品・飲料・タバコ
小 計	株 数 ・ 金 額	3	2	21	3,000	
	銘柄 数 < 比 率 >	1	1	—	<2.2%>	
ユ ー ロ 計	株 数 ・ 金 額	42	38	157	21,554	
	銘柄 数 < 比 率 >	11	9	—	<15.7%>	
(イギリス)				千英ポンド		
BARCLAYS PLC		—	50	12	2,395	銀行
GKN PLC		50	35	10	1,870	自動車・自動車部品
小 計	株 数 ・ 金 額	50	85	22	4,265	
	銘柄 数 < 比 率 >	1	2	—	<3.1%>	
(スイス)				千スイスフラン		
CIE FINANCIERE RICHEMON-REG		—	3	21	2,727	耐久消費財・アパレル
ROCHE HOLDING AG-GENUSSCHEIN		—	0.8	20	2,657	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
小 計	株 数 ・ 金 額	—	3	42	5,385	
	銘柄 数 < 比 率 >	—	2	—	<3.9%>	
(スウェーデン)				千スウェーデンクローナ		
HENNES & MAURITZ AB-B SHS		3	3	100	1,426	小売
小 計	株 数 ・ 金 額	3	3	100	1,426	
	銘柄 数 < 比 率 >	1	1	—	<1.0%>	
合 計	株 数 ・ 金 額	236	239	—	131,298	
	銘柄 数 < 比 率 >	48	47	—	<95.7%>	

- (注) 邦貨換算金額は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。
(注) 邦貨換算金額欄の< >内は、当期末のマザーファンドの純資産総額に対する各国別株式評価額の比率です。
(注) 株数・評価額の単位未満は切り捨てです。ただし、株数が単位未満の場合は小数で記載しています。
(注) 一印は組み入れがありません。
(注) 銘柄及び銘柄数は、新株等がある場合、別銘柄として記載しております。

グローバル・エクセレント・マザーファンド

第7期 運用状況のご報告

決算日：2015年2月26日

「グローバル・エクセレント・マザーファンド」は、2015年2月26日に第7期の決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	世界の株式（DR（預託証券）を含みます。）を主要投資対象とし、投資信託財産の長期的な成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	世界の株式（DR（預託証券）を含みます。）を主要投資対象とします。
投資制限	株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		S & P 500 指数		ストックス・ヨーロッパ600指数		株式組入比率	株式先物比率	純資産総額
	円	騰落率	(参考指数)	騰落率	(参考指数)	騰落率			
3期(2011年2月28日)	7,488	9.3	1,319.88	19.7	284.12	16.8	91.1	—	390
4期(2012年2月27日)	7,239	△ 3.3	1,365.74	3.5	264.77	△ 6.8	96.4	—	253
5期(2013年2月26日)	8,596	18.7	1,487.85	8.9	288.40	8.9	96.9	—	196
6期(2014年2月26日)	11,457	33.3	1,845.12	24.0	338.39	17.3	98.0	—	423
7期(2015年2月26日)	14,181	23.8	2,113.86	14.6	386.76	14.3	97.8	—	171

(注) 基準価額は1万口当たりです。

(注) S&P 500指数は、米国の主要業種を代表する500銘柄で構成される時価総額加重平均指数です。ストックス・ヨーロッパ600指数は欧州株式を対象とする主要600銘柄の時価総額加重平均指数です。両指数とも、当該日前営業日の現地データを使用しています。なお、両指数とも参考指数であり、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

○当期中の基準価額と市況等の推移

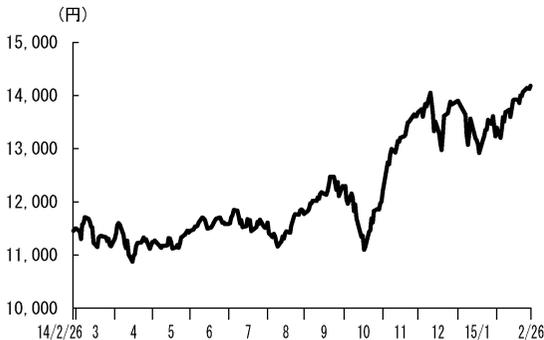
年 月 日	基 準 価 額		S & P 5 0 0 指 数		ストックス・ヨーロッパ600指数		株 式 組 入 比 率	株 式 先 物 比 率
	円	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
(期 首) 2014年2月26日	円 11,457	% —	ポイント 1,845.12	% —	ポイント 338.39	% —	% 98.0	% —
2月末	11,500	0.4	1,854.29	0.5	337.21	△0.3	98.0	—
3月末	11,305	△1.3	1,857.62	0.7	333.76	△1.4	95.2	—
4月末	11,245	△1.9	1,878.33	1.8	338.12	△0.1	94.5	—
5月末	11,451	△0.1	1,920.03	4.1	344.51	1.8	95.8	—
6月末	11,586	1.1	1,960.96	6.3	341.97	1.1	92.2	—
7月末	11,608	1.3	1,970.07	6.8	340.44	0.6	94.7	—
8月末	11,775	2.8	1,996.74	8.2	341.05	0.8	97.2	—
9月末	12,269	7.1	1,977.80	7.2	340.99	0.8	95.1	—
10月末	12,209	6.6	1,994.65	8.1	330.71	△2.3	92.8	—
11月末	13,683	19.4	2,072.83	12.3	347.49	2.7	89.4	—
12月末	13,901	21.3	2,090.57	13.3	344.27	1.7	95.7	—
2015年1月末	13,395	16.9	2,021.25	9.5	368.76	9.0	95.7	—
(期 末) 2015年2月26日	円 14,181	% 23.8	ポイント 2,113.86	% 14.6	ポイント 386.76	% 14.3	% 97.8	% —

(注) 騰落率は期首比です。

◎基準価額の推移

基準価額は、期首の11,457円から当期末は14,181円となり、2,724円の値上がりとなりました。

基準価額の推移



(注) 基準価額は1万口当たりです。

◎基準価額の変動要因

(主なプラス要因)

- ・国別では、米国、カナダ、フランスなど、業種区分では、生活必需品、ヘルスケアなどが基準価額にプラスに寄与しました。
- ・個別銘柄では、相対的に市場シェアの高い製品・サービスを有し、グローバルな経済成長の恩恵が期待される銘柄のうち、CVS HEALTH CORPやUNION PACIFIC CORPなどが基準価額にプラスに寄与しました。
- ・また、日本円に対し米ドルなどが上昇したことが基準価額にプラスに寄与しました。

(主なマイナス要因)

- ・国別では、スイス、オランダが、業種区分では、エネルギーが基準価額にマイナスに寄与しました。
- ・個別銘柄では、ADECCOやTHE PRICE LINE GROUPなどが基準価額にマイナスに寄与しました。
- ・また、日本円に対しユーロやポンドなどが下落したことが基準価額にマイナスに寄与しました。

◎投資環境 (市況)

世界の株式市場は、2014年3月以降、ウクライナ情勢が緊迫化したことや、8月に中東で地政学的リスクが高まったことを背景に、短期的な調整局面がありました。6月上旬に欧州中央銀行 (ECB) が追加金融緩和に踏み切るなど、先進主要国で低金利政策の長期化観測を受けて、9月上旬にかけて上昇する展開が続きました。10月中旬にかけては国際通貨基金 (IMF) が世界経済見通しを下方修正したことなどが嫌気され、急落する展開となりました。その後、米国企業による好決算の発表を受けて反発しましたが、12月以降は、原油価格やエネルギー株が下落したことに加え、ギリシャのユーロ離脱に対する懸念が高まり、不安定な展開が続きました。期末にかけては、2015年1月下旬にECBが量的金融緩和策の導入を発表したことなどが好感され、上値を試す展開となりました。

◎ポートフォリオについて

米国経済が回復基調を強めたことに加えて、米連邦準備制度理事会 (FRB) による低金利政策の長期化が見込まれたことから、米国株式市場の見通しが良好であると判断し、米国株のウェイトを高めた運用を行いました。

セクター配分に関しましては、米国の景気回復に伴う業績の伸長が期待される一般消費財や資本財、情報技術などの景気敏感セクターのウェイトを高位とし、運用を行いました。

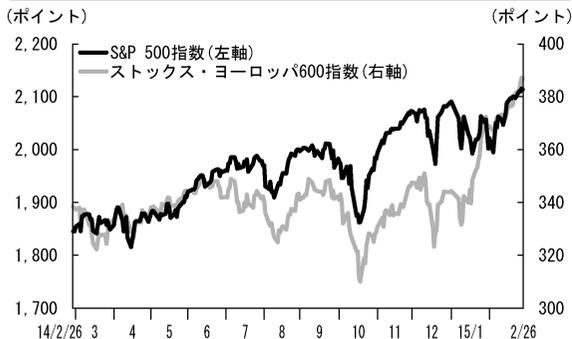
地政学的リスクの高まりなどから、株式市場の見通しが悪化した場面では、米国のインターネット株などのウェイトを引き下げました。

原油価格が下落し、エネルギー株が調整した局面では、エネルギーセクターのウェイトを引き下げた一方、ガソリン価格の低下による個人消費の押し上げ効果を見込み、一般消費財セクターのウェイトを引き上げました。

◎参考指数との比較

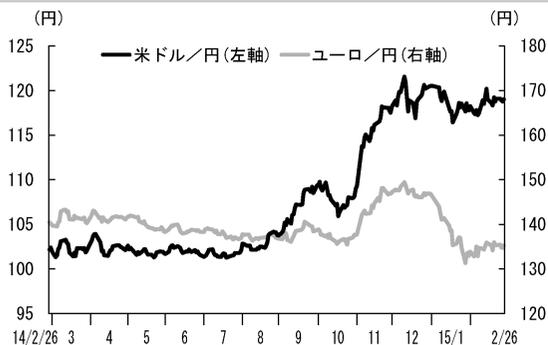
当ファンドの基準価額は上昇となりました。当ファンドは特定のベンチマークを設けておりませんが、参考指数としているS&P 500指数、ストックス・ヨーロッパ600指数はいずれも上昇となりました。また、米ドルが対円で上昇した一方、ユーロは対円で下落しております。

参考指数の推移



(注) 両指数とも、当該日前営業日の現地データを使用しています。

為替レートの推移



(注) 為替レートは対顧客電信売買相場の当日（東京）の仲値です。

◎今後の運用方針

＜投資環境見通し＞

米国では、雇用環境の改善を背景に、個人消費が景気の拡大を牽引すると見込まれることに加えて、欧州では、ECBによる量的金融緩和の実施を受けて緩やかな景気回復が続くと期待されるなど、世界の株式市場の見通しは良好であると考えます。一方、米国の利上げ開始時期を巡る不透明感が短期的に株式市場の波乱要因になると考えます。

＜運用方針＞

当面の運用方針としては、米国や欧州などの先進国の株式を中心としたポートフォリオで運用を行います。また、ECBによる量的金融緩和策の実施などを背景とする景況感の改善を評価し、欧州のウェイトを高める方針です。銘柄選別におきましては、安定的な業績の成長が見込まれる大型株を中心に、資本財や情報技術、消費関連株などの景気敏感セクターの銘柄に注目し、組入れる方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2014年2月27日～2015年2月26日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	円 41 (41)	% 0.337 (0.337)	(a) 売買委託手数料=期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	4 (4)	0.035 (0.035)	(b) 有価証券取引税=期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	43 (41) (2)	0.358 (0.339) (0.018)	(c) その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の 送金・資産の移転等に要する費用 その他は金融商品取引を行う識別番号取得費用
合 計	88	0.730	
期中の平均基準価額は、12,160円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切り捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2014年2月27日～2015年2月26日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国内	上場	千株 1	千円 8,366	千株 1	千円 7,586
	アメリカ	百株 273 (24)	千米ドル 1,670 (-)	百株 554	千米ドル 3,606
国外	カナダ	46	千加ドル 208	62	千加ドル 340
	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	ドイツ	18	167	56	347
	フランス	89 (0.08)	282 (2)	88 (-)	291 (2)
	オランダ	3	7	22	51
	スペイン	6	15	-	-
	ベルギー	6	47	3	26
	イギリス	50	千英ポンド 15	362	千英ポンド 135
スイス	15	千スイスフラン 125	32 (-)	千スイスフラン 322 (2)	
スウェーデン	3	千スウェーデンクローナ 102	-	千スウェーデンクローナ -	

(注) 金額は受渡代金です。

(注) 単位未満は切り捨てです。ただし、単位未満の場合は小数で記載しています。

(注) ()内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○株式売買比率

(2014年2月27日～2015年2月26日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	886,010千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	270,542千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	3.27

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。

○利害関係人との取引状況等

(2014年2月27日～2015年2月26日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$		うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$	
株式	百万円 298	百万円 8	% 2.7	百万円 587	百万円 7	% 1.2

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	983千円
うち利害関係人への支払額 (B)	25千円
(B) / (A)	2.6%

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは岡三証券です。

○組入資産の明細

(2015年2月26日現在)

国内株式

銘 柄	期首(前期末)			当 期 末		
	株 数	株 数	評 価 額	株 数	株 数	評 価 額
	千株	千株	千円			
化学 (53.0%)						
信越化学工業	—	0.4	3,280			
電気機器 (47.0%)						
パナソニック	2	2	2,914			

銘 柄	期首(前期末)			当 期 末		
	株 数	株 数	評 価 額	株 数	株 数	評 価 額
	千株	千株	千円			
輸送用機器 (—%)						
トヨタ自動車	0.3	—	—			
合 計	株 数・金 額	2	2	6,194		
	銘柄数<比率>	2	2	<3.6%>		

(注) 業種・銘柄欄の()内は、当期末の国内株式の評価総額に対する各業種の割合です。

(注) 合計欄の()内は、当期末の純資産総額に対する評価額の比率です。

(注) 株数および評価額の単位未満は切り捨てです。

(注) —印は組み入れがありません。

外国株式

銘柄	期首(前期末)		当期		業種等
	株数	株数	評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円	
ALCOA INC	—	16	24	2,856	素材
BANK OF AMERICA CORP	35	—	—	—	銀行
CARNIVAL CORP	10	—	—	—	消費者サービス
CITIGROUP INC	12	—	—	—	銀行
CVS HEALTH CORP	—	4	41	4,925	食品・生活必需品小売り
DU PONT (E. I.) DE NEMOURS	13	—	—	—	素材
EMC CORP/MA	10	—	—	—	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
EOG RESOURCES INC	—	3	27	3,322	エネルギー
FEDEX CORP	—	1	17	2,090	運輸
GENERAL ELECTRIC CO	22	8	20	2,467	資本財
GENERAL MOTORS CO	25	—	—	—	自動車・自動車部品
GENERAL DYNAMICS CORP	—	2	28	3,336	資本財
HONEYWELL INTERNATIONAL INC	11	3	31	3,727	資本財
MASTERCARD INC-CLASS A	13	4	37	4,412	ソフトウェア・サービス
METLIFE INC	—	5	25	3,045	保険
PROCTER & GAMBLE CO/THE	6	—	—	—	家庭用品・パーソナル用品
SALESFORCE.COM INC	19	—	—	—	ソフトウェア・サービス
SCHLUMBERGER LTD	11	—	—	—	エネルギー
VERIZON COMMUNICATIONS INC	4	5	24	2,928	電気通信サービス
WALT DISNEY CO/THE	13	4	42	5,026	メディア
UNION PACIFIC CORP	4	2	24	2,914	運輸
NEXTERA ENERGY INC	—	2	20	2,470	公益事業
VISA INC-CLASS A SHARES	5	1	27	3,249	ソフトウェア・サービス
VMWARE INC-CLASS A	—	3	25	3,017	ソフトウェア・サービス
WELLS FARGO & CO	13	6	33	3,951	銀行
NORFOLK SOUTHERN CORP	9	2	22	2,638	運輸
BOEING CO/THE	8	1	15	1,821	資本財
BRISTOL-MYERS SQUIBB CO	—	5	30	3,643	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
HOME DEPOT INC	7	—	—	—	小売
LOWE'S COS INC	15	—	—	—	小売
MONSANTO CO	4	3	37	4,436	素材
NIKE INC -CL B	—	2	19	2,305	耐久消費財・アパレル
NORDSTROM INC	—	3	24	2,899	小売
UNITEDHEALTH GROUP INC	—	3	34	4,072	ヘルスケア機器・サービス
UNITED PARCEL SERVICE-CL B	5	—	—	—	運輸
DANAHER CORP	16	3	26	3,114	資本財
COCA-COLA CO/THE	5	—	—	—	食品・飲料・タバコ
AMAZON.COM INC	3	1	38	4,587	小売
COGNIZANT TECH SOLUTIONS-A	10	—	—	—	ソフトウェア・サービス
COMCAST CORP-CLASS A	22	5	29	3,548	メディア
COSTCO WHOLESALE CORP	4	2	29	3,511	食品・生活必需品小売り
EBAY INC	15	—	—	—	ソフトウェア・サービス
FACEBOOK INC-A	6	4	31	3,788	ソフトウェア・サービス
GILEAD SCIENCES INC	14	3	31	3,729	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
STARBUCKS CORP	11	4	37	4,488	消費者サービス
PRICELINE GROUP INC/THE	1	—	—	—	小売
TEXAS INSTRUMENTS INC	—	6	35	4,221	半導体・半導体製造装置
INTEL CORP	—	7	23	2,828	半導体・半導体製造装置
APPLE INC	2	—	—	—	テクノロジー・ハードウェアおよび機器

グローバル・エクセレント・マザーファンド

銘柄	株数	金額	期首(前期末)		当期		業種等
			株数	株数	評価額	期末	
			株数	株数	外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)			百株	百株	千米ドル	千円	
CELGENE CORP	—	—	—	3	36	4,396	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	383 35	126 33	955 —	113,777 <66.5%>		
(カナダ)					千加ドル		
METHANEX CORP	—	—	15	—	—	—	素材
TORONTO-DOMINION BANK	—	—	—	4	21	2,065	銀行
SUNCOR ENERGY INC	—	—	16	11	42	4,042	エネルギー
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	31 2	15 2	63 —	6,108 <3.6%>		
(ユーロ…ドイツ)					千ユーロ		
ADIDAS AG	—	—	8	—	—	—	耐久消費財・アパレル
VOLKSWAGEN AG	—	—	—	1	21	2,951	自動車・自動車部品
ALLIANZ SE-REG	—	—	4	1	17	2,434	保険
BASF SE	—	—	2	—	—	—	素材
BAYERISCHE MOTOREN WERKE AG	—	—	4	—	—	—	自動車・自動車部品
DEUTSCHE LUFTHANSA-REG	—	—	20	—	—	—	運輸
HENKEL AG & CO KGAA VORZUG	—	—	—	1	10	1,389	家庭用品・パーソナル用品
SAP SE	—	—	5	—	—	—	ソフトウェア・サービス
SIEMENS AG-REG	—	—	—	3	29	4,008	資本財
LINDE AG	—	—	3	—	—	—	素材
DAIMLER AG-REGISTERED SHARES	—	—	—	3	25	3,450	自動車・自動車部品
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	47 7	9 5	105 —	14,233 <8.3%>		
(ユーロ…フランス)							
AXA SA	—	—	—	14	30	4,166	保険
SANOFI	—	—	5	4	35	4,821	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
LVMH MOET HENNESSY LOUIS VUI	—	—	—	1	22	3,060	耐久消費財・アパレル
GDF SUEZ	—	—	6	—	—	—	公益事業
SCHNEIDER ELECTRIC SE	—	—	6	—	—	—	資本財
ACCOR SA	—	—	—	5	23	3,214	消費者サービス
TOTAL SA	—	—	6	—	—	—	エネルギー
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	23 4	24 4	112 —	15,261 <8.9%>		
(ユーロ…オランダ)							
KONINKLIJKE PHILIPS NV	—	—	19	—	—	—	資本財
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	19 1	— —	— —	— <-%>		
(ユーロ…スペイン)							
INDITEX	—	—	—	6	16	2,265	小売
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	— —	6 1	16 —	2,265 <1.3%>		
(ユーロ…ベルギー)							
ANHEUSER-BUSCH INBEV NV	—	—	—	3	33	4,472	食品・飲料・タバコ
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	— —	3 1	33 —	4,472 <2.6%>		
ユーロ計	株数・金額 銘柄数<比率>	89 12	42 11	267 —	36,233 <21.2%>		
(イギリス)					千英ポンド		
BARCLAYS PLC	—	—	210	—	—	—	銀行
RIO TINTO PLC	—	—	11	—	—	—	素材
GKN PLC	—	—	141	50	18	3,380	自動車・自動車部品
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	362 3	50 1	18 —	3,380 <2.0%>		

グローバル・エクセレント・マザーファンド

銘柄	期首(前期末)	当 期 末		業 種 等	
		株 数	株 数		評 価 額
		株 数	株 数	外貨建金額	邦貨換算金額
(スイス)		百株	百株	千スイスフラン	千円
ADECCO SA-REG		10	—	—	—
CIE FINANCIERE RICHEMON-REG		3	—	—	—
ROCHE HOLDING AG-GENUSSCHEIN		1	—	—	—
SWATCH GROUP AG/THE-BR		1	—	—	—
小 計		株 数 ・ 金 額	16	—	—
		銘柄 数 < 比 率 >	4	—	< — % >
(スウェーデン)				千スウェーデンクローナ	
HENNES & MAURITZ AB-B SHS		—	3	109	1,569
小 計		株 数 ・ 金 額	—	3	109
		銘柄 数 < 比 率 >	—	1	< 0.9 % >
合 計		株 数 ・ 金 額	882	236	—
		銘柄 数 < 比 率 >	56	48	< 94.1 % >

(注) 邦貨換算金額は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の〈 〉内は、当期末の純資産総額に対する各国別株式評価額の比率です。

(注) 株数・評価額の単位未満は切り捨てです。

(注) 一印は組み入れがありません。

(注) 銘柄及び銘柄数は、新株等がある場合、別銘柄として記載しております。

○投資信託財産の構成

(2015年2月26日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	千円 167,261	% 97.8
コール・ローン等、その他	3,826	2.2
投資信託財産総額	171,087	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨てです。

(注) 当期末における外貨建純資産 (163,210千円) の投資信託財産総額 (171,087千円) に対する比率は95.4%です。

(注) 当期末における外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当期末における邦貨換算レートは1米ドル=119.04円、1加ドル=95.77円、1ユーロ=135.27円、1英ポンド=184.87円、1スウェーデンクローナ=14.37円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2015年2月26日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	171,087,716
コール・ローン等	1,705,223
株式(評価額)	167,261,744
未収入金	1,826,634
未収配当金	294,115
(B) 純資産総額(A)	171,087,716
元本	120,643,971
次期繰越損益金	50,443,745
(C) 受益権総口数	120,643,971口
1万口当たり基準価額(B/C)	14,181円

(注) 当ファンドは監査対象ではありません。

(注) 計算期間末における1口当たり純資産額は1,4181円です。

(注) 当ファンドの期首元本額は369,446,394円、期中追加設定元本額は7,308,339円、期中一部解約元本額は256,110,762円です。

(注) 当ファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額は、グローバル・エクセレント・オープン(愛称 世界連峰)120,643,971円です。

○損益の状況 (2014年2月27日～2015年2月26日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	5,554,325
受取配当金	5,551,504
受取利息	2,821
(B) 有価証券売買損益	39,284,873
売買益	71,084,640
売買損	△31,799,767
(C) 保管費用等	△1,040,707
(D) 当期損益金(A+B+C)	43,798,491
(E) 前期繰越損益金	53,842,831
(F) 追加信託差損益金	2,691,661
(G) 解約差損益金	△49,889,238
(H) 計(D+E+F+G)	50,443,745
次期繰越損益金(H)	50,443,745

(注) 損益の状況の中で、(B)有価証券売買損益は期末の評価替えによるものを含みます。(F)追加信託差損益金とは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。(G)解約差損益金とは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

〈お知らせ〉

法令諸規則の改正に伴い、投資信託約款に所要の変更を行いました。(実施日：2014年12月1日)